

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	030500	TEL	2928-1233
事業コード	くらしの会補助金	市民経済部 消費生活センター				
030505		グループ	消費生活センター			
補助開始年度		昭和	47	年度	→	終了予定年度
		平成		年度		

②事業の内容	根拠法令	所沢市補助金等交付規則							
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業	消費者団体連絡会補助金							
	総合計画の体系	政策	第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	5節 消費生活	中柱	2 消費者活動の促進	小柱	(2) 消費者活動の支援
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	3261		事務事業見直しの推進	コード		コード		
補助開始の背景	消費者問題に関心が寄せられ消費者団体運動が次第に高まってきたことから、これを補助し消費者運動のより一層の発展を図るために開始された。								
補助の目的	消費者団体活動の支援を通して、多様な消費者問題に対応できる消費者を育成するため。							団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	○リサイクル活動「牛乳パックで小物作り」「古布ぞうり作り」等、講習会の実施 ○研修会参加及び実施 ○会報誌「所沢市くらしの会だより」発行							50	単位 名

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		130	117	110
	補助額決算 (見込み含む)		130	117	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.03 人	0.03 人	
	事業費合計		406	399	
	市民一人当たり(単位:円)		1.2	1.2	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	講習会・講演会開催	開催回数	回	12	17		
		施設見学会・研修会	見学会・研修会実施回数	回	2	2		
	成果分析	講習会・講演会開催回数	開催した回数	目標値	12	12		
				実績	12	17		
% 達成率				100.0	141.7			

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input checked="" type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	補助金の見直し	達成水準	今後の支援方法の検討	時期	継続的な課題である。
	H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了	
	上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	事業費に占める補助金・繰越金の割合が高く、団体会費の増額等、自助努力を求める。消費者トラブルを未然に防ぐためには消費者自らが考え判断しうる能力を高めて行くことが重要であり、消費者団体の育成の必要性は高いので、市としても支援は継続していく。					
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	消費生活センター所長 小野洋子			

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					